

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	文化観光国際部 国際課	江口 信
施策名	6 国際交流と平和発信の推進	事業群関係課(室)	漁政課、県民生活環境課	
事業群名	① 国際交流の推進	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額 59,381	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
交流の積み重ねにより培われた友好交流関係や人的ネットワーク等を活かして海外との交流を拡大するとともに、市町や関係団体等と連携した交流活動の支援や地域で活躍する国際人材の育成を図ることにより、地域における幅広い分野での国際交流を推進していきます。		i) 友好都市等との関係強化と相互交流の拡大 ii) 地域における多文化共生の推進 iii) 民間団体等が取り組む先駆的な国際交流活動への支援								
事業群	指標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	県民等が参加した国際交流事業の開催件数	目標値①	/	26回	29回	32回	35回	38回	38回(R7)	
		実績値②	23回(H30)	30回	/	/	/	/	進捗状況	
	達成率②/①	/	115%	/	/	/	/	順調	県民等が参加する国際交流事業、各種講座・イベント等については、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での交流は一部延期や中止になっているものもあるが、感染防止対策に万全を期した上で実施している。また、オンラインでの交流を行うなど、ポストコロナを見据えた取組を進めているところであり、引き続き、長い国際交流の歴史で培った海外との友好関係やネットワークを利活用しながら、地域における多様な分野での国際交流を推進していく。	

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 (令和3年度事業の実施状況(令和4年度新規・補正事業は事業内容))	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等	
				R2実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R2目標	R2実績		達成率
				R3実績					R3目標	R3実績		
				R4計画	R4目標	R4実績						
事業実施の根拠法令等				事業対象								
事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)									
所管課(室)名												
取組項目 i iii	○	1	東アジア相互交流推進事業費	1,979	1,979	10,727	新型コロナウイルス感染症の影響で海外との往来ができない状況の中でも、高校生同士のオンライン交流会や国際オンラインシンポジウムなど友好都市と連携した各種事業を実施した。また、3都市(上海市・釜山広域市・長崎県)交流担当課長会議を開催し、今後のトライアングル交流について合意できたほか、SDGsをテーマとした大学生の交流事業や青少年囲碁交流大会、音楽文化交流事業の開催など3ヵ国間での交流事業についても実施した。	【活動指標】 R2:各種交流事業実施数(回)	5	2	40%	●事業の成果 ・コロナ禍の影響により対面での交流は制限されたが、オンライン等を活用し、友好都市と連携して各種事業を実施することで、友好都市等との関係をより深めることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・日韓交流オンラインシンポジウムなど本県ならではの諸外国との交流の歴史を活用した事業を実施することを通して、本県のプレゼンス向上及び認知度向上に寄与している。
				9,306	9,278	28,044		R3-:歴史・文化を活用した各種事業の実施数(件)	6	3	50%	
				12,782	11,712	27,652		【成果指標】 R2:3地域国際担当課長級によるトライアングル交流促進の合意形成(件)	1	1	100%	
			H27-					R3-:友好都市等との連携事業数(件)	6	8	133%	
			国際課	—	—	—	県民・中国・韓国・東南アジア地域国民		6			

取組項目	2	日韓海峡沿岸交流事業費	0	0	8,081	<p>新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、日韓海峡沿岸地域の発展に向け、継続的な連携性のある取組を推進するため、オンライン上で日韓8県市道の首長等が集まり、第29回日韓海峡沿岸県市道交流知事会議を実施した。(12/23)</p> <p>上記会議では、地方再生のための包括的な対策に関する各県市道の取組事例発表や共同声明文の発表を行った。</p>	【活動指標】	幹事会3回 実務会議2回	幹事会3回 実務会議1回	80%	<p>●事業の成果</p> <p>・コロナ禍での開催となったため、対面での会議はできなかったものの、オンライン上で知事会議を開催し、都市再生事業や魅力的なまちづくりなど、地方再生のための包括的な対策に関する取組みについて事例発表し、共同声明文の発表を行った。</p> <p>・知事会議では、ウィズコロナ時代においても継続的な連帯と協力が必要であることを再確認するとともに、今後も揺るぎない友好関係の中で、お互いに発展していけるよう、地域間交流をさらに積極的に推進することに合意し、両国の友好関係を高めることができた。</p>	
			984	984	4,674		幹事会3回 実務会議2回	幹事会3回 実務会議1回	80%			
			3,264	3,264	3,841		幹事会3回 実務会議2回					
							【成果指標】	合意事項 3項目	実現項目 2項目	66%		
				H4-				【活動指標】	合意事項 3項目	実現項目 3項目	100%	
				国際課	—	—	—	日韓海峡沿岸8県市道	【活動指標】	合意事項 3項目		
	3	中国友好都市周年記念事業費	209	209	6,232	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により訪問団の派遣及び記念祝賀会の開催は中止となったが、中国現地イベントへの長崎県総合PRブースの出展や長崎県情報発信イベントの開催、日中高校生のオンライン交流会などの各種記念事業を関係各課と連携を図りながら実施した。</p>	【活動指標】				<p>●事業の成果</p> <p>・中国現地イベントへの長崎県総合PRブース出展や長崎県情報発信イベントを開催し、中国友好都市の皆様にも本県をPRすることができた。</p> <p>●事業群の目標達成への寄与</p> <p>・中国友好都市と協力しながら高校生同士のオンライン交流会を開催し、本県の国際交流促進に寄与した。</p>	
							【成果指標】					
			(R3終了)R3					記念事業の参加者数 (人)	200	216		108%
				国際課	—	—	—	県民及び中国国民				
	4	周年記念事業費	15,984	15,984	10,753	<p>長崎県・福建省友好関係樹立5周年を記念して、訪問団の派遣及び記念祝賀会を開催し、今後の本県と中国・ベトナムにおける人脈等の関係強化並びに経済、文化、観光等の交流促進を図る。</p>	【活動指標】				—	
							【成果指標】					
(R4新規)R4							記念事業の参加者数 (人)	200				
			国際課	—	—	—	県民及び中国・ベトナム国民					
5	日中・日韓水産関係交流促進事業	1,031	1,031	8,317	<p>韓国1市3道(釜山広域市、慶尚南道、全羅南道、済州特別自治道)との交流は、新型コロナウイルスの影響により漁業者親睦会議は中止となったが、交流会についてはオンラインで「コロナ禍における水産物販売促進対策」等について情報交換を行い、両国で魚類の種苗放流を実施した。</p> <p>また、中国浙江省とは、オンライン会議で備忘録の交換や水産技術者、行政担当者などの水産関係者による技術交流会を実施し、福建省とは次回開催に向けた備忘録の交換を行った。</p>	【活動指標】	R2: 魚類種苗共同放流(尾)	2,000	0	0%	<p>●事業の成果</p> <p>・本県の大中型まき網等の沖合漁業にとって東シナ海等は重要な漁場であるが、本漁場は中国、韓国の漁船も操業しており、水産資源を相互利用していることから、資源の管理や操業秩序の維持が課題となっている。このため、本交流事業を実施することで、資源管理の必要性や操業秩序の維持に向けた意識醸成が図られた。</p>	
		1,424	1,424	7,790		R3- 漁業者が参加した親睦交流の実施回数	1	0	0%			
		3,710	3,710	7,681		【成果指標】	継続の必要性あり	継続の必要性あり	—			
						H16-	継続の必要性あり	継続の必要性あり	—			
			漁政課	—	—	—	韓国南岸1市3道福建省浙江省	【活動指標】	継続の必要性あり			
							知事会議における評価、総括意見					

取組項目 i	6	長崎発東アジアの環境技術発信事業				中国福建省及び日韓海峡沿岸県市道との環境保全に係る人材・研究交流事業を通じて、双方の環境保全の推進を図る。	【活動指標】 実務者会議参加回数(回)				—	
			4,000	4,000	3,841			2				
		(R4新規)R4	—					【成果指標】				
		県民生活環境課	—	—	—		中国福建省、日韓海峡沿岸8県市道	交流事業実施件数(件)	1			
取組項目 ii	7	長崎県ゆかりの外国人ネットワーク推進事業費	4,190	4,190	2,347	本県ゆかりの外国人(留学生、JETプログラム参加者、駐在員等の長崎県在住の外国人を含む)を対象として、県内の旬な情報を5ヵ国語(日、英、中、韓、越)で発信するなど、本県に関する有用な情報の提供を行った。	【活動指標】	1,900	1,987	104%	●事業の成果 ・本県ゆかりの外国人とのネットワークの維持・強化を図ることで、本県の国際交流の促進に寄与した。	
			3,326	3,326	7,790		会員数(人)	2,000	1,989	99%		
		(R3終了)H20-R3	—					【成果指標】	2	2		100%
		国際課	—	—	—		県内外の本県ゆかりの外国人	アンケートの県の施策への反映数(件)	2	2		100%
取組項目 iii	8	国際交流関係連絡調整費	6,519	6,519	1,792	福建省、上海市、湖北省、釜山広域市をはじめ、中国・韓国両国との友好交流促進のため各種連絡調整を行った。 長崎県日中親善協議会が実施する日中友好交流事業等に対し支援を行った。	【活動指標】	9	6	66%	●事業の成果 ・コロナ禍の影響により中止・延期となった事業もあったが、長崎県日中親善協議会が実施する各種事業(留学生との交流会など)により、中国との友好交流関係を推進することができた。 ・また、コロナ禍で国内での活動しかなかったため、目標達成できなかったものの、オンライン等を活用し、中韓両国と積極的に情報共有し、関係維持に努めたことでポストコロナ時代に向けて長崎県の認知度を高めることができた。	
			6,718	6,718	1,558		助成事業実施件数(件)	8	5	62%		
			11,524	11,524	1,536			8				
		S48-	—					【成果指標】	20	0		0%
国際課	—	—	—	中国・韓国の自治体等、長崎県日中親善協議会	訪中、訪韓、訪日団体数(団体)	20	0	0%				
取組項目 ii iii	9	国際交流協会助成事業費	12,550	9,926	1,565	(公財)長崎県国際交流協会が実施する地域の国際化に向けた関係事業(国際理解講座、海外移住事業、外国人支援事業など)について、その一部経費を助成した。	【活動指標】	13	4	30%	●事業の成果 ・新型コロナウイルスの影響により、各種講座やイベントの対面開催が制限されたため、開催回数は目標達成に至らなかったが、オンラインでの実施に切り替えたり、万全なコロナ対策を図って開催するなどして対応したことで、参加人数は目標を上回り、地域住民の国際理解促進につながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・県民の国際理解を深めるため、様々な国の文化に触れる機会を提供しており、本県の国際交流促進に寄与している。	
			13,480	10,760	7,790		国際交流イベント、理解講座開催数(回)	13	10	76%		
			14,339	11,455	7,681			13				
		H2-	—					【成果指標】	385	46		11%
国際課	—	—	—	(公財)長崎県国際交流協会	国際交流イベント、理解講座参加者数(人)	385	548	142%				
取組項目 ii	10	海外技術研修員受入事業費	200	200	2,348	将来、派遣元国の経済開発と繁栄に貢献しうる人材を養成するとともに、県民との交流を通じて相互理解、友好親善の促進を図ることを目的として、海外からの研修生を本県で受け入れているが、令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、研修員の受入ができなかった。	【活動指標】	2	0	0%	●事業の成果 ・コロナ禍により、県内企業への研修員受入ができず、事業の成果をあげることができなかった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・派遣元国の経済開発等に貢献しうる者との関係の構築および県民との交流の機会を創出することで、本県の国際交流促進に寄与している。	
			0	0	1,558		海外技術研修員の受入人数(人)	0	0	0%		
			4,862	4,862	1,536			2				
		S48-	—					【成果指標】	80	0		0%
国際課	—	—	—	海外技術研修員	受入機関の満足度(%)	0	0	0%				
						80						

取組項目 ii	11	語学指導等外国青年招致事業費	20,806	0	2,347	語学指導や翻訳・通訳等を行う外国青年を招致し、地域における国際化の推進を図った。	【活動指標】 県国際交流員による講座の開催数(回)	36	9	25%	●事業の成果 ・令和3年度は、前年度までに受け入れ予定だった参加者のうち、80名の受入が実現し(令和2年度受入は1名のみ)、地域における国際化の推進に寄与した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・JET青年の増加は、県民の外国人と交流する機会の増大や海外とのネットワークの拡大につながるものであり、本県の国際交流促進に寄与している。
			22,136	0	2,337			36	15	41%	
			34,996	0	2,304			36			
		S62-			—			【成果指標】	540	83	
	国際課			—			県国際交流員による講座の受講者数(人)	540	199	36%	
	—			—				540			
	12	地元で頑張る国際人材育成・活用プロジェクト推進事業費	219	219	2,347	県内高校に通う観光・サービス業に関心がある生徒を対象に、「観光業を担う国際人材育成」をテーマとし、海外の観光先進地であるシンガポールにおける企業見学や、国際観光人材育成専門機関によるウェビナー等をプログラムとする「世界へこぎ出せ！長崎っ子応援事業」をオンラインで開催した。 また、「おもてなし」に特化した、実践的な英会話の基礎スキルの向上を目的とした「おもてなし英会話力向上応援講座」をオンラインで開催した。	【活動指標】 当該プロジェクト事業で支援した日本人学生数(人)	25	34	136%	
			1,798	1,798	1,558			25	58	232%	
			618	618	1,536			25			
		H29-			—			【成果指標】	50	50	
国際課			—			支援学生のうち県内就職した割合(%)	50	50	100%		
—			—				50				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	友好都市等との関係強化と相互交流の拡大	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により対面での交流が難しい状況ではあるが、日韓交流オンラインシンポジウムなど、関係機関と連携し、オンライン等を活用した交流事業を行い、友好都市等との関係強化及び相互交流の拡大に努めた。</p> <p>今後も各種事業や機会を捉えて人脈構築等を図り、これまでに築いてきた友好都市等との交流ネットワークをさらに強固なものにしなが、人的・経済的交流の拡大に波及させていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>今年は本県と福建省との友好交流関係樹立40周年及びベトナム・クアンナム省との友好交流関係樹立5周年に合わせた各種記念事業を実施する予定としており、今後もこのような機会を捉え、関係機関等と連携し、中国・ベトナムの友好都市等との関係強化及び相互交流の拡大に繋げていく。また、コロナ禍で対面での交流が難しい中においても、これまで築いてきた友好交流関係をより強固なものとしていくため、各国の新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、交流拡大に向けて、対面交流・オンライン交流を組み合わせ、より効果的な取組を推進していく。</p>
ii	地域における多文化共生の推進	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>多文化共生推進のため、国際交流員による語学講座や国際交流フェスティバルの開催などの異文化に対する理解促進の機会提供や国際人材育成などに取り組んだ。県内在留外国人数は増加傾向で推移しており、引き続き、外国人が地域社会の一員として安心・安全に生活できる環境整備を推進する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>今後も関係機関や市町と連携した県民の国際理解の機会提供などを通じた外国人が安心した生活できる環境整備を推進する。</p>
iii	民間団体等が取り組む先駆的な国際交流活動への支援	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>国際交流協会において、民間国際交流団体1団体に助成金を交付し、支援をする予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、助成予定団体の事業が実施できなかった。新型コロナウイルスの影響で民間国際交流団体の活動が難しい状況にある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>支援内容を検討するとともに、新たな団体の掘り起こし及び支援制度の更なる周知を図る。また、コロナ禍で海外との往来ができない状況でも、在留外国人との交流イベントなど民間団体の活動を支援する。</p>

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名		令和4年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和4年度の新たな取組は「R4新規」と、見直しが無い場合は「—」と記載	令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間	所管課(室)名		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 iii	○	1	東アジア相互交流推進事業費	H27- 国際課	新型コロナウイルス感染症の影響が続いている中でも、友好都市の高校生との交流事業や日中韓青少年囲碁交流大会などをオンラインで実施するとともに、各国の感染状況に応じて、感染症対策を徹底した上で、現地での活動も一部再開するなど、より効果的な事業の実施に取り組む。	⑨	友好交流関係にある国・地域において、これまでの取組で得た人的ネットワークを活用しながら、引き続き国や地域ごとの特性に応じた本県ならではの諸外国との交流の歴史を活用した情報発信等を実施するとともに、各国の新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、交流拡大に向けて、対面交流・オンライン交流を組み合わせ、より効果的な取組を推進していく。	改善
			H27-					
			国際課					
取組項目 i		2	日韓海峡沿岸交流事業費	H4- 国際課	昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での会議開催は難しい状況だったため、オンラインで知事会議を行った。今年度は万全なコロナ対策を行った上で、対面による知事会議を開催予定。	⑨	今後も引き続き、日韓海峡沿岸県市道交流知事会議を開催するとともに、これまでの共同声明による合意に基づき、水産関係交流事業、環境技術交流事業、広域観光協議会事業、日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃事業に加え、日韓海峡沿岸若者雇用創出事業等の共同交流事業を行う。	改善
			H4-					
			国際課					
取組項目 i		4	周年記念事業費	(R4新規)R4 国際課	R4新規	⑩	—	終了
			(R4新規)R4					
			国際課					
		5	日中・日韓水産関係交流促進事業	H16- 漁政課	本県及び中国・韓国の関係者はいずれも対面での交流を希望しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現地での対面交流が難しい中でも関係を維持できるよう、一部でオンラインを活用した交流を実施していく予定としている。	⑨	本県と水産資源を共有している中国、韓国と良好な関係を維持していくことは非常に重要であるため、新型コロナウイルス感染症終息後は中国、韓国と対面での交流を行う。	改善
			H16-					
			漁政課					
	6	長崎発東アジアの環境技術発信事業	(R4新規)R4 県民生活環境課	R4新規	⑨	新型コロナウイルス感染症の影響で対面での交流が難しい状況であるが、オンラインでの交流を実施しながら、今後も環境保全に係る人材・研究交流を継続していく。	改善	
		(R4新規)R4						
		県民生活環境課						
取組項目 iii		8	国際交流関係連絡調整費	S48- 国際課	長崎県日中親善協議会が実施する事業について、新型コロナウイルス感染症の影響があるものの、感染症対策を徹底し、実施することとしている。	⑨	引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、福建省、上海市、湖北省、釜山広域市をはじめ、中国・韓国両国との友好交流促進のため各種連絡調整を行う。また、長崎県日中親善協議会が実施する各種交流事業について、コロナ禍でも効果的な事業の実施ができるよう時期や内容等について関係者と調整し、工夫しながら取り組んでいく。	改善
			S48-					
			国際課					

取組項目 iii	○	9	国際交流協会助成事業費	増加する在住外国人に対し、生活に必要な日本語教育を推進するため、市町の日本語教育関係者の意識啓発のための研修や日本語教室を支えるボランティアの養成等を行う「地域日本語教育推進事業」を実施する。 多文化共生の意識啓発を図り、県民と在住外国人との相互理解を深めるため、様々な国の文化等を紹介する講座やワークショップ等を行う「多文化共生セミナー」を開催する。 在住外国人との共生を推進するため、県内外国人コミュニティのキーパーソンとの意見交換や情報共有・提供を行う「外国人コミュニティ交流会」を実施する。	⑨	長崎県国際交流協会が実施する国際化の推進、地域在住の外国人支援、各種活動への協力支援、情報収集・提供事業などの各種事業を通じて、本県における在留外国人と共生する魅力ある地域づくりが促進されるよう、引き続き支援を実施する。	改善
			H2-				
			国際課				
取組項目 ii		10	海外技術研修員受入事業費		⑨	新型コロナウイルス終息後を見据え、受入企業のニーズに応じた参加者への研修を行うことで、引き続き南米等の派遣国と本県の友好親善・経済交流の促進を図るとともに、必要な技術の修得により、派遣国の発展に寄与する人材の育成に貢献する。	改善
			S48-	—			
			国際課				
		11	語学指導等外国青年招致事業費		⑨	学校現場や地域の国際化に果たすJET青年の役割が増えていることから、今後もJET青年のスムーズな招致を行うため、市町へのサポート・研修に取り組みさらなるJET青年の活躍と地域の国際化を実現する。	改善
			S62-	—			
			国際課				
	12	地元で頑張る国際人材育成・活用プロジェクト推進事業費	学生からのニーズが高く、より効果の見込まれる「おもてなし英会話力向上応援講座」に特化して、コロナ禍で培ったオンラインによる交流手法を活用し、事業を実施することとしている。	⑨	引き続き、地元で頑張る若者の育成及び国内外において本県の応援団となり得る人脈を構築するために、オンラインも活用しながら、民間におけるアジア・国際戦略の担い手を育成する。また、参加者アンケート結果を元に、より参加者の満足度の高い、効果的な事業内容となるよう改善を重ねる。	改善	
		H29-					
		国際課					

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点